

ゆめクラブ神奈川

YUME JOURNAL KANAGAWA

ゆめジャーナル 神奈川

通巻209号

(令和7年7月号)

kanagawa@yumekurabu.or.jp
https://www.yumekurabu.or.jp/



新しい老人クラブを作ろう 〈仲間を増やそう〉



夏・平塚海岸

CONTENTS

- P2 新しい老人クラブを作ろう
- P3 クラブの活動紹介～秦野市老人クラブ連合会～
- P4 大分県臼杵市老人クラブ連合会に聞きました
- P5 神奈川県社会福祉協議会の紹介
- P6～7 令和7年度活動方針・事業計画

- P8 担い手養成研修シンポジウム（3月18日）の報告
- P9 女性会議研修会（5月19日）の報告
- P10 ゆめクラブ神奈川事業活動基金募金決算報告
- P11 県老連の動き・歌集提供のお知らせ
公式LINE登録方法
- P12 編集委員お薦めスポット【座間市】

今号の
テーマ

新しい老人クラブを作ろう 〈仲間を増やそう〉

今号のテーマは、「新しいクラブを作ろう」としました。

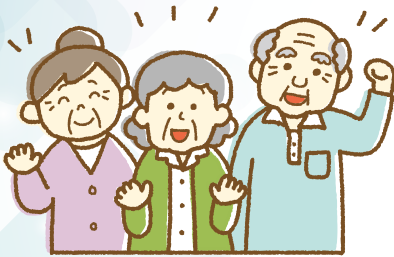
2つのことを考えています。ひとつは、解散や休会クラブの復活です。今、毎年毎年、老人クラブが減り続けています。これに何とかストツプをかけたいたいです。



そんなこと不可能と思われるかもしれませんが、今年も、復活したクラブがあります。まったくの新人クラブも生まれています。解散や休会中のクラブには、隣のクラブと合体したというケースも多いようですが、何かの機運が生じれば、復活もありえます。

地域の中に交流の場を作りたいという人が何人かいて、「じゃあ作ってみようか」とその気にさせるリーダーが出てきた時がチャンスです。

「三人寄れば文殊の知恵」と言いますが、「あつたらしいかも」が3人集まれば、「じゃあやってみるか」に化学変化するかもしれませんので。



「新しいクラブを作ろう」のもうひとつの意味は、時代が変化する中で、これからの老人クラブについて考えてみませんかという意味です。

老人クラブが生まれた昭和38年頃に比べて、平均寿命は15年以上伸び、70代でも働く人が増えて、ライフスタイルも大きく変わっています。



自分はまだ老人ではないと考えている元気なシニアにとって魅力的なクラブ、学生や40・50代の若いミドル・シニアが活動してくれるクラブ、そして、地域での仲間づくりを大切にしたい人たちの思いを実現させるクラブ。

理想かもしれませんが、そんなクラブ作りを考えてみたいのです。

「あるといいけど、やっぱり無理だな」から、一歩だけ前へ踏み出す仲間を見つけてみませんか。

県老連は、令和7年度の予算で、「新しい老人クラブ」ができた市町村老連への助成金を新設しました。

県老連事務局への連絡先…

045-311-8737

クラブの 活動紹介

秦野市老人クラブ連合会 横野長寿会「遊喜会」

結 成：令和5年3月

会員数：84名

会 長：山口 國雄

「会員が自主的に活動し、 その中から喜びを感じる会」が発足！



お茶会での演奏を披露

13年ぶりに復活した老人クラブ

「同じ地区に住んでいるのに日常のコミュニケーションができなくて寂しい」「趣味や特技を持っている人の触れ合いの場が欲しい」そういう地域住民の声に応じて立ち上がりました。



刃物研ぎ部の活動の様子

活動は「部活動制」

本部は月1回の「お茶飲み会」を運営し、その他の活動は各部が部長を選出し、年間の計画から実施まで行います。現在9部会（健康麻雀部、カラオケ部、将棋部、手芸部、折り紙部、体操部、料理部、刃物研ぎ部、卓球部）が積極的に活動中です。



会結成の思いとこれから

「皆さんの復活に対する熱意と地域を大切に思う気持ち、さらには会員の友愛活動の大切さの認識が高いこと、その思いに応えたいということで会長を受けました」と山口会長。会員が楽しく活動することで健康とコミュニケーションが図られ、友愛関係を醸成していくことが大切と考えます。

横野長寿会連合会 令和7年3月の活動予定

開催日	曜日	行事名	場所	時間	備考
1 期	(土)	健康麻雀教室	横野自治会館	12:00～	第1主理
2 期	(月)	カラオケ教室	横野自治会館	12:00～	横野自治会館1階 12:00～13:00 13:00～14:00
3 期	(火)	将棋教室	横野自治会館	9:30～	第1火曜
4 期	(水)	手芸教室	横野自治会館	13:00～	第1水曜
5 期	(木)	折り紙教室	横野自治会館	9:30～	第2火曜
6 期	(金)	市老連 ウロリサ・大会	市健康福祉センター	13:30～	
7 期	(土)	体操教室	横野神社境内	9:00～	第3日曜
8 期	(日)	卓球教室	横野児童館	9:30～	第4日曜
9 期	(月)	市老連 ウロリサ・練習	北公民館	9:00～	
10 期	(火)	刃物研ぎ教室	北公民館	10:00～	第4火曜
11 期	(水)	お茶飲み会	横野自治会館	13:30～	第4水曜 参加費100円
12 期	(金)	料理教室	北公民館	9:30～	第4金曜

発行 横野長寿会連合会 会長 山口 國雄
「電話0463-」

横野長寿会3月活動予定

大分県臼杵市老人クラブ連合会に聞きました

臼杵市は山間部も多く、65歳以上の高齢化率は43%。平成28年頃、高齢化と過疎化の進む中で、地域の同好会を老人クラブに取り込むことがスタートしました。

現在、10クラブあります。将棋、麻雀、歩こう会のほかに、七島しちとうの会というクラブもあります。『七島』は、豊後水道に点在する7つの島、別名『芸能集団』と呼ばれ、臼杵に伝わる盆踊りや太鼓の伝統芸能を地域の盆踊りや老連の体育大会などで披露しています。

これらのクラブの悩みは、国の定める『概ね30人』以上に満たないことです。臼杵市は15人集まれば認めてくれるとのこと。地域を越えて会員になれることも特徴です。行政の柔軟性が発揮されています。従来型の地域クラブも68ありますが、臼杵市老連では、催しものへは相互に参加できることを勧めています。ただし、『本籍は守る』が暗黙のルールです。

ここでも、『足の問題』はありますが、同好会クラブは60、70代と若手が多く、ボランティアの乗合運転や『ぶぐバス』という地域循環バスが活用されています。

臼杵市老連のもう一つの特徴は、市から月1万円の補助金をもらって、認知症の人たちへの『オレンジカフェ』を、地域包括支援センターと協力しながら運営しています。社会に役立つ活動をしたという女性部の思いでスタートしました。認知症施策に力を入れる市役所の福祉施策に貢献しています。高齢化・過疎化の特に進む『野津地区』のカフェは、その名も『で

かけちいくでオレンジカフェ吉四六。』来てもらうのは大変だからこつちから行くよ』という方言です。



オレンジカフェで女性部員の皿回し

団体の紹介 >>> 神奈川県社会福祉協議会のこと

神奈川県社会福祉協議会は、戦後、県内各地で民間の篤志家がさまざまな福祉活動を始めたところから始まりました。福祉施設関係者、民生委員を中心に結成され、昭和27年に法人化された団体です。

現在、各市町村に設置された社会福祉協議会、社会福祉法人・社会福祉施設、民生委員・児童委員のほか、障害当事者団体、職能団体などが会員として参画していただき、地域福祉の向上を目指して活動をしています。

「神奈川県社会福祉協議会活動推進計画」を策定し、「住民参加とさまざまな主体の協働による誰もが尊重され安心して生活できる地域づくりの推進」を基本理念に掲げ、「地域での支えあいの推進」「福祉サービスの充実」「福祉人材の確保・育成・定着の推進」「県社協活動基盤の充実」の4つの柱に基づいて、各種事業を実施しています。

神奈川県老人クラブ連合会さまには、県介護福祉士会等職能団体、障害当事者団体などの団体で構成された「第2種正会員連絡会」に参画いただいています。

この連絡会は、それぞれが直面している生活課題への対応状況や組織運営上の課題について、交流を通じて理解を深め、各団体での活動の活性化を図ることで、地域福祉の向上を目指して活動しています。

地域において、老人クラブが軸となり、高齢期になっても住み慣れた街でつながりを作ることができる場を提供し、健康づくり等に貢献されていることは、「社会的孤立・孤独」が課題となる中、本会が目指す地域福祉の推進とも関連が深い活動と認識しています。

引き続き、神奈川県老人クラブ連合会の皆さまと連携を密にし、全県的な支えあいの地域づくりを推進していきたいと考えています。

連絡会活動のご紹介（一部）

社会的に理解を広げる必要があるテーマについて、動画を制作して普及啓発を図っています。ぜひご視聴ください！

【これまでのテーマ】保護司活動／自閉症／てんかん

県社協ホームページおススメコンテンツ

「かながわ ふくしのギャラリー」で県内の地域福祉活動、社会福祉の実践活動を紹介しています。



連絡会 HP



連絡会会員
紹介動画



連絡会
ホームページ



県老連
令和7年度

活動方針

老人クラブこそ豊かな
地域社会づくりの拠点

老人クラブは、地域の中で、人と人とのつながり、支え合いを築いていく1つの核になりうる存在です。子どもから高齢者までの世代を超えた人々とのつながりあい、豊かな地域づくりを育んでいきたいものです。

老人クラブだけではできません。自治会など、地域の中いろいろな団体やグループとつながっていくことが大切だと思います。孤独と孤立は高齢者だけでなく、若者や中高年にとっても大きな問題になっています。今、「地域の力」は小さくなっているように感じます。

そんな時だからこそ、私たち老人クラブは、「地域共生社会」の担い手の一人なんだという自覚と自負を抱いて、豊かな地域コミュニティの実現を目指したいと思います。

県老連
令和7年度

事業計画

◇「か」かがやいて元気に生きる
(健康・生きがい事業)

- ① 市町村老連での高齢者健康づくり実践教室の開催への支援
- ② 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業（県委託事業）
- ・ ゆめクラブ大学・県内6ブロックで実施
- ・ 地域支援事業担い手養成研修事業・地域支援事業の担い手養成研修
- ・ 新しい生活様式でつながる研修
- ・ 地域支援担い手シンポジウム

◇「な」なかまを広げて仲良く生きる
(社会活動事業)

- ① 友愛チームによる一人暮らし高齢者や在宅高齢者への支援活動
- ・ 友愛チーム員のためのブロック単位の研修
- ② 友愛活動等支援事業
- ・ 30市町村老連で会員以外の高齢者も含めた活動の展開
- ③ 友愛チーム資質向上研修会
- ・ 6ブロックで実施
- ④ 地域活動支援事業 a 市町

村老連が行う次世代や他団体との交流事業 b 地域の安全安心支援 c パソコン活用事業 * 市町村老連はa b c から1事業を選択

⑤ 9月20日「社会奉仕の日」統一活動の実施

- ⑥ 老人クラブ会員増強運動の実施
- ⑦ 新しい老人クラブへのスタート支援 (新規事業)
- ・ 解散・休会クラブの復活や新規誕生老人クラブへの支援

◇「が」学習・参加で豊かに生きる
(情報提供学習によるリーダー養成事業)

- ① 機関紙「ゆめジャーナル神奈川」年2回発行
- ② ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催 (7カ所)
- ③ 県老連役員、女性リーダー、地域活動推進員の研修会、関東ブロック研修会への参加、関東ブロックリーダー研修会

- ④ 市町村老連の指導者育成、6ブロック老連連絡会議への支援

◇「わ」わくわくニ「に」楽しく生きる

- ① 神奈川県老人クラブ等功労者

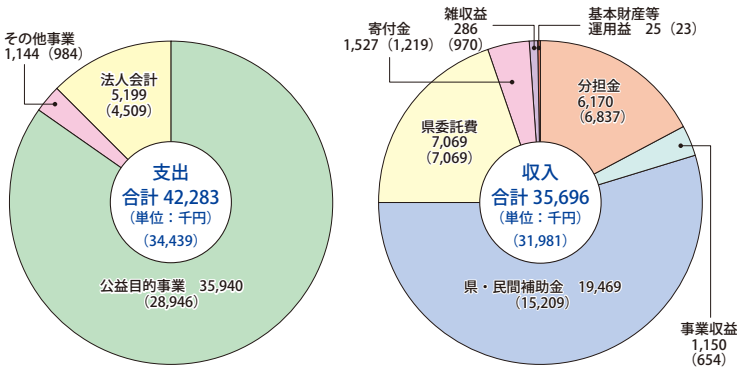
- のつどいの開催
- ② 賀詞交歓会の開催
- ③ 全国老人クラブ大会の開催
(11月5・6日茨城県開催)
- 令和7年度の重点目標**
- I 新しい老人クラブを作ろう
解散・休会クラブの復活、新
規誕生クラブへのスタート
アップ支援
- II ICTを活用した仲間づくり
の促進
スマホ・ラインを活用した会
員間の連絡、老人クラブ活動
の広報に活用
- III 地域の多様な団体・組織、地
域住民と連携した老人クラブ
活動の推進
自治会、地域包括支援セン
ター、学校、サークル活動な
どと積極的に連携
- IV 女性会員のパワーの発揮
老人クラブ活動の一層の活性
化・魅力化に女性会員の活力
の発揮
- V 友愛活動の一層の充実
人と人とのふれあい・支え合
いで豊かな地域共生社会、1
クラブに1友愛チーム結成
- VI 県老連の財政再建に向けた継
続的で不断の見直し

支出のうち公益目的事業の内訳

(単位：千円)

事業	金額	説明
クラブ等育成事業	853 (1,112)	県老連、関ブロ、市町村老連研修
地域活動事業	10,267 (10,564)	健康づくり支援、友愛、地域活動支援
調査広報事業	49 (29)	ゆめジャーナル委員会等
大会会議費	5,650 (781)	全国老人クラブ大会、功労者の集い
事業活動基金事業 (旧 21 世紀基金)	419 (518)	スポーツ交流大会 基金運営委員会
高齢者社会参画・ 生きがい支援事業	2,473 (2,479)	ゆめクラブ大学 地域支援担い手養成研修
共通経費	16,229 (13,463)	事業に伴う人件費、事務管理経費他
合計	35,940 (28,946)	

令和6年度決算 ()内は令和5年度決算

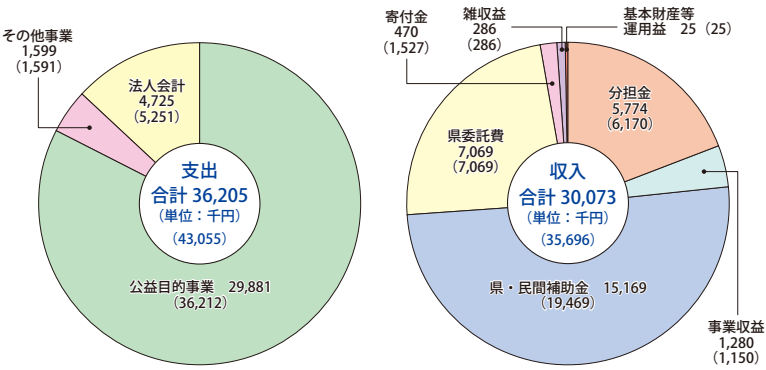


支出のうち公益目的事業の内訳

(単位：千円)

事業	金額	説明
クラブ等育成事業	1,487 (1,261)	県老連、関ブロ、市町村老連研修
地域活動事業	10,997 (11,212)	健康づくり支援、友愛、地域活動支援
調査広報事業	186 (186)	ゆめジャーナル委員会等
大会会議費	609 (6,107)	全国老人クラブ大会、功労者の集い
事業活動基金事業 (旧事業活動基金事業)	90 (578)	スポーツ交流大会 基金運営委員会
高齢者社会参画・ 生きがい支援事業	2,284 (2,594)	ゆめクラブ大学 地域支援担い手養成研修
共通経費	14,228 (14,274)	事業に伴う人件費、事務管理経費他
合計	29,881 (36,212)	

令和7年度予算 ()内は令和6年度予算



担い手養成研修シンポジウム（3月18日）の報告

スマホ活用が大きく前進！ 行事連絡から防災まで

神奈川県の委託事業として、モデル事業を希望して実施した老連の事例報告会です。

毎年、皆さんのスマホ利用の進歩を感じます。専門家の防災の講演も、「その時」は来てほ

しくないですが、来ると言われていまずので備えておきたいものです。

※発表動画は表示のQRコードから見るができます。



研修の様子

【事例報告1】

「役員のグループLINEの活用・今後の取組について」

真鶴町老人クラブ連合会 岸 祐介

役員のグループを作り、役所への提出物、会議などの連絡報告、イベントの通知がLINEでできるようになりました



【事例報告2】

「単位クラブでスマホ研修」

二宮町ゆめクラブ連合会 石塚 哲郎

3つの単位クラブがそれぞれの地域でスマホの基本を学びました。さらに、〇〇payやセキュリティー対策、災害時に役立つアプリなど応用編も実施しました。



【事例報告3】

「グループLINEを活用した安心安全と地域の活性化のまちづくり」

厚木市老人クラブ連合会 小鮎地区 川田 直克

LINEの基本やグループ活用について学び、実際に大きな地震や地域に不審者らしき人が回っている時に大活躍！



【講演】

「みなさん“ぼうけん”しましょう！」 ～日頃の健康づくりが 防災でも役立ちます～

(有)ブライト・シティ・ジャパン 伊勢田 良一

日常の「健康づくり」「コミュニケーションづくり(スマホも使って)」が非日常の「逃げられる力」「耐えられる力」につながります。



女性会議研修会（5月19日）の報告

令和6年4月に「孤独・孤立対策推進法」が施行されました。神奈川県老人クラブ連合会は官民連携プラットフォームのメンバーになりました。そして5月は「孤独・孤立対策強化月間」でもあります。法律のことを知って、そして「つながりサポーター」になろう！

※発表動画は表示のQRコードから見るができます。



研修会の様子

【研修】

「孤独・孤立対策推進法」と「つながりサポーター」

神奈川県福祉子どもみらい局
福祉部生活支援課

小峰 智也

法律がつくられた背景について、つながりサポーターとしての知識を学びました。だれでも孤独・孤立になっておかしくない社会事情にあること、力になってくれる窓口があることを知りました。



【事例報告】

「民生委員と友愛チーム活動の協働」

三浦市老人クラブ連合会

塚越 郁子

民生員として5年勤め、また単位老人クラブの会長となり友愛活動を知りました。目的は同じ！と思い4月にチームを作り活動を開始しました。試行錯誤が続きますが、地域みんなで助け合います。



皆でつながりあう社会へ向けて

令和6年度「ゆめクラブ神奈川事業活動基金募金」報告

●小田原市 21,820 円／緑寿会 4,320 円、堀之内第三福寿会 3,000 円、堀之内第一福寿会 3,000 円、東富水地区第三福寿会 3,000 円 酒匂地区老連 3,500 円、橘ゆうゆうクラブ 5,000 円
●相模原市 77,113 円／相模原市老連 51,113 円、6丁目ひばりクラブ 3,000 円、中之郷親茶会 20,000 円、星が丘2丁目福寿会 1,000 円、横山六・六会 1,000 円、シルバーフレンド 1,000 円
●大和市 10,000 円／大和市老連 10,000 円
●南足柄市 10,000 円／南足柄市老連 5,000 円、山崎駒千代会 5,000 円
●寒川町 11,000 円／寒川町老連 11,000 円
●大井町 5,000 円／大井町老連 5,000 円
●開成町 10,000 円／開成町老連 10,000 円
●箱根町 10,000 円／箱根町老連 10,000 円
〈その他の会場募金〉
●横三ブロック（ニュースポーツ・横須賀市）18,162 円 ●湘南ブロック（ニュースポーツ・寒川町）17,669 円 ●県央ブロック（ニュースポーツ・座間市）10,839 円 ●西湘ブロック（ニュースポーツ・湯河原町）23,896 円 ●足柄上ブロック（ニュースポーツ・開成町）10,725 円 ●賀詞交歓会 28,954 円

（敬称略） 合計 265,178 円

【決算報告】（令和7年3月31日現在）

収 入

事業活動基金募金	265,178 円
受取利息	247 円
雑収	600 円
前年度繰越金	1,046,541 円
収入合計	1,312,566 円

支 出

委員会開催諸経費等	22,220 円
各市町村助成金	390,000 円
振込手数料負担	7,108 円
支出合計	419,328 円
次年度繰越金	893,238 円

募金活用について

令和6年度は「ニュースポーツ交流の集い開催事業」助成金を活用して6ブロックでスポーツ交流会が開催され、延べ695人の方々にご参加いただきました。

事業活動基金はR6年度で終了となりました。

各ブロックでのスポーツ交流は、新たな会員の獲得にもつながり、県への補助金の要望を続けています。それまでの間、昨年度に市町村老連へお配りした募金箱も活用して、事業を続けていただけることを願っています。



県老連の動き～事業実施のご報告～

1月	10日	賀詞交歓会
2月	4～5日	全老連代表者会議（霞が関）
3月	7日	理事会
	10日	ジャーナル編集委員会
	13日	全国老人クラブ・理事会（霞が関）
	18日	担い手シンポジウム（→P 8）
	24日	評議員会
	25日	事務担当者会議
4月	8日	関東ブロ・事務局長会議
	14日	女性会議・ブロック代表者会議
5月	7日	監事会
	9日	理事会
	19日	女性会議研修会
	26日	評議員会
6月	25日	関東ブロック・リーダー研修会（長野県） ～26日
7月	18日	役員研修会
	30日	全老連・事務局長会議



令和7年新年賀詞交歓会



関東ブロックリーダー研修会

長谷川（座間市）、太田（大和市）、宮本（小田原市）、山崎（葉山町）が参加しました（敬称略）



みんなで歌う心のうた 100 選 提供のお知らせ

女性会議委員が選曲した歌集です。
A5 版サイズ1冊 1,100 円（送料無料）。
詳細はゆめクラブ神奈川のホームページで
ご覧いただけます。



公式LINEとお友達になってください！

ゆめクラブ神奈川は、公式 LINE で県老連情報や市町村老連の活動紹介を行っています。ぜひ、お友達登録をおねがいします！



【ゆめクラブ神奈川】
LINE 公式アカウント



友だち
募集中

@501endog



県老連の最新情報、各クラブの活動紹介、時にはプレゼント企画などお届けしています。

LINEの「友だち追加」からID検索するか、QRコードをスキャンしてください。

【友だち追加の方法】

- ① LINE を起動
- ② ホーム（もしくはその他）
- ③ 友だち追加マークをタップ
- ④ カメラが起動したら QR コードを読み取る
- ⑤ アカウントが表示されたら「追加」をタップ



座間市四ツ谷向日葵畑



写真提供：座間市地域づくり部地域プロモーション課

座間市四ツ谷に広がる向日葵畑です。遠くに大山が見えます。ソフィア・ローレン主演の映画「ひまわり」を思い出します。あれは、ウクライナのひまわり畑でした。ひまわり畑をバックに、ヘンリー・マンシーニの哀しいテーマ曲が流れていました。毎年8月に座間市「ひまわりまつり」が開催されます。背丈の低いミニヒマワリです。

座間市ひまわりまつり会場

「ひまわりまつり
会場」行き
臨時直行バス運行

小田急線「相武台前駅」

座間市ひまわりまつり会場

路線バス
座間四ツ谷行き
「神社前」下車
徒歩10分

小田急線「座間駅」

圏央道
圏央厚木IC
約5km

マイカー

